



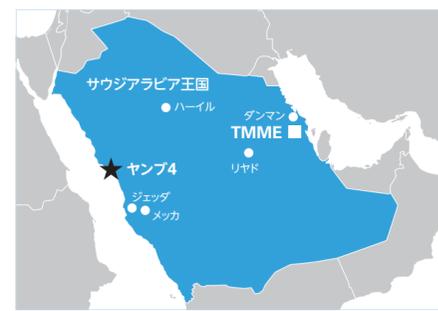
# 2023年度下期の主なトピックス

## 東しの逆浸透 (RO) 膜がサウジアラビア王国の大型海水淡水化プラント向けに受注

東しは、このたび、サウジアラビア王国のヤンプ4海水淡水化プラント向けに、逆浸透 (RO) 膜を受注しました。製品並びに技術サービスの提供は、東レグループ現地子会社であるToray Membrane Middle East LLC (所在地ダンマン、略称「TMME」) が担います。世界中のエネルギー安定供給を支える中東や北アフリカ地域の水不足解消に貢献していく中での本受注となりました。今回の受注は、東しの中東での15年以上にわたる堅実な実績の積み上げが高く評価されたもので、従来の蒸発法と比較して設備費や運転コストの低減を実現しています。

り、ヤンプ4海水淡水化プラントは蒸発法からRO膜法へのパラダイムシフトの一例です。

東しは、長年にわたり、RO膜の生産・販売・技術サポート体制の拡大により、世界中の水問題の解決に貢献してきました。その用途は、海水淡水化をはじめ、廃水再利用から工業用途にまで及びます。これまでの累計出荷数量は、生産数量ベースで1億2,000万m<sup>3</sup>/日であり、生活用水換算で8.4億人相当の需要をまかなえる量に相当するまでに拡大しました。



プラント及びTMME所在地

東レグループは2050年に目指す世界を示した「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」や、持続的かつ健全な成長の実現に向けた長期経営ビジョン「TORAY VISION 2030」の中で、安全な水の提供に取り組むべき課題として掲げています。今後も、RO膜をはじめとした最先端の水処理膜の提供と、稼働プラントへの技術サービス強化により、水需要の拡大が見込まれる中東地域をはじめ世界のの水問題解決に貢献していきます。

### 東レ公式note



### 東レアローズ



### サニブラウン・アブデル・ハキーム



### 実話に基づく短編映画「STRAIGHT PATH」



### 空飛ぶクルマが世界の空を変える



### 水素の未来



### 世界をつくる「素材」の最先端



### 青空サイエンス教室



### イノベーションプラザ/東レ記念館



## 優れた水滴除去性をPFASフリーで実現した撥水ストレッチテキスタイル「DEWEIGHT™ (デューエイト)」の開発について

東しは、優れた水滴除去性(生地構造により、表面についた水滴が滑らかに転がる優れた撥水性能)をPFASフリー(フッ素を使用しない)で実現した撥水ストレッチテキスタイル「DEWEIGHT™」を開発しました。2025年春夏シーズン向けからメンズ・レディス向けにアウターからボトムスまでの展開を予定しており、2025年度20万m、2027年度50万mの販売を目指します。

2種類のスパイラル構造を発現させる特殊な高次加工技術によって、天然素材のようなマルチラフネス構造を実現しました。

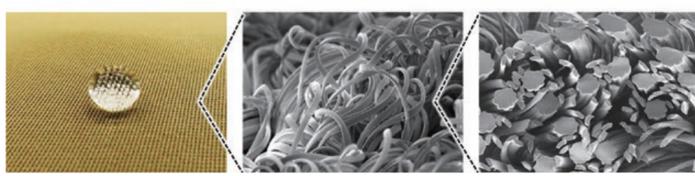
このDEWEIGHT™が持つマルチラフネス構造は、体に蓄積される有害性が指摘され、規制が強化されるフッ素系(PFAS)の撥水剤での加工を一切行うことなく、PFASフリーの環境配慮型撥水加工で優れた撥水性を実現しています。

世界的な気候変動により、線状降水帯やゲリラ豪雨が発生する頻度が増え、外出先で激しい雨にさらされ、傘を差していても腕や肩が濡れたり、濡れた路面からの水ハネによって不快を感じるシーンが増えています。今回開発

したDEWEIGHT™は、「雨の日もおしゃれをして、快適に出かけたい」といったお客様の要望に応えるべく開発した素材であり、日常シーンで活躍するタウンユースで幅広く展開していきます。

# DEWEIGHT

デューエイト



テキスタイル外觀      テキスタイル表面      糸束断面

によって繊維断面を精密に制御した新しい原糸と、形態の異なる

# 「TORAY」 Innovation by Chemistry

## 株主のみなさまへ

### 2023年度報告書 —2024年6月発行—



### Contents

- 株主の皆様へ
- 2023年度下期の主なトピックス
- 財務ハイライト
- 連結財務諸表
- 事業の概況
- 会社概要
- 株式関連情報

### 株式関連情報

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 6月下旬

**基準日** 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日

**株主名簿管理人** 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

**事務取扱所** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
☎0120-782-031 (平日9:00~17:00)

**郵便物送付先** 同上

**電話照会先** ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00)

**単元株式数** 100株

**公告方法** 電子公告(当社ウェブサイトに掲載)  
www.toray.co.jp

**証券コード** 3402

**住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等の申し出先について** 株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。  
証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)にお申し出ください。

**未払配当金の支払いについて** 三井住友信託銀行株式会社本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)にお申し出ください。

**株主総会資料書面交付請求のお手続きについて** 三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-533-600 (平日9:00~17:00)または口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。

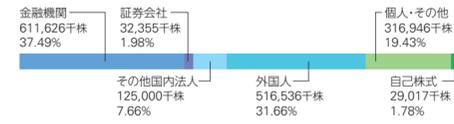
### 株式データ (2024年3月31日現在)

- ◎発行済株式総数 1,631,481,403株(自己株式29,017,426株を含む)
- ◎株主数 223,892名
- ◎大株主及び持株数

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	229,878,600株	14.35%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	108,813,900	6.79%
日本生命保険相互会社	71,212,250	4.44%
大樹生命保険株式会社	35,961,000	2.24%
ステートストリートバンクウェストクワイアントリーリー 505234	31,695,314	1.98%
全国共済農業協同組合連合会	26,593,000	1.66%
株式会社三井住友銀行	24,022,000	1.50%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	23,941,700	1.49%
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	23,499,354	1.47%
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	21,122,561	1.32%

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### ◎所有者別分布状況



ウェブサイト [www.toray.co.jp](http://www.toray.co.jp)

「個人投資家の皆様へ」を開設しています。  
[www.toray.co.jp/ir/index.html](http://www.toray.co.jp/ir/index.html)

**東レ株式会社**

本社 〒103-8666 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号(日本橋三井タワー)  
Tel: 03-3245-5111(代)

大阪本社 〒530-8222 大阪市北区中之島三丁目3番3号(中之島三井ビルディング)



この報告書は、FSC(森林管理協議会)の規程に従って環境に配慮し、適切に管理された森林から切り出された木を原料とした紙を使用しています。また印刷インクはVOC(揮発性有機化合物)成分が少ない植物油インキを使用し、アルカリ性現像液やインプロピルアルコールを含む湿し水が不要な東レ水なし平版で印刷しています。

# 東レ株式会社2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績についてご報告申し上げます。



株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当期の世界経済は、米国は堅調でしたが、欧州は低迷、中国が鈍化したこと等から回復に力強さを欠きました。国内経済については、緩やかな回復の動きが続いていますが、世界景気の先行き不透明感や半導体市場の調整長期化が下押し圧力となりました。

このような事業環境の中で、当社グループは「持続的かつ健全な成長」を掲げ、2023年度からは「持続的な成長の実現」「価値創出力強化」「競争力強化」「人を基本とする経営」の深化、「リスクマネジメントとグループガバナンスの強化」の5つを基本戦略とした中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”を推進しています。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前期比1.0%減の2兆4,646億円、事業利益\*は同6.9%増の1,026億円となりました。また、炭素繊維複合材料事業において、風力発電翼用途の需要低迷に伴い減

損損失を計上したこと等から、営業利益は同47.1%減の577億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同69.9%減の219億円となりました。この業績を踏まえ、期末配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただきます。これにより、中間配当金9円を加えた年間配当金は、1株当たり18円となりました。

また、今回新たに政策保有株式の縮減と、その売却代金を自己株式取得に充当する方針を決定しました。中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”で掲げた目標達成に向け、資本効率の改善を加速するため、2024年度から2026年度の3年間で50%、現在の時価で約1,000億円相当の政策保有株式を削減します。売却代金は、全額を株主還元として自己株式取得に充当します。

世界経済は、欧米での高金利による個人消費や設備投資の意欲低下、中国経済の足踏みにより、回復ペースは緩やかなものに留まると見られます。国内経済は緩やかな回復が見込まれます。ただし、中国での不動産不況

の長期化、欧米での利下げ開始時期の遅れによる消費減速、中東情勢の緊迫化、日銀の金融政策変更や為替変動等が内外経済の下振れ材料として挙げられます。このような状況の下、当社グループは、中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”の基本戦略を推進し、不確実性に備えた事業運営を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

東レ株式会社  
代表取締役社長

大矢 光雄  
おおや みつお

\*事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

## 事業の概況

### 2023年度の売上収益は2兆4,646億円、事業利益は1,026億円となりました。

各セグメントの（ ）内の数字は前期比です。

#### 織 維

売上収益 **9,748億円** (△2.4%)  
事業利益 **547億円** (6.8%)

衣料用途が欧米の市況悪化、衛材用途が需給バランス悪化の影響を受けて低調に推移しました。  
産業用途は自動車用途の需要回復、EV向け拡大から回復傾向が続きました。

#### 機能化成品

売上収益 **8,861億円** (△2.6%)  
事業利益 **367億円** (20.8%)

樹脂・ケミカル事業は、樹脂事業が中国市場の需要減少等の影響により低調でしたが、国内自動車用途において改善傾向が見られました。  
ケミカル事業は堅調に推移しました。  
フィルム事業は主力のPETフィルムの電子部品関連用途は緩やかに回復していますが、一部にサプライチェーンの在庫調整の影響が残りました。  
電子情報材料事業は、有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られました。

#### 炭素繊維複合材料

売上収益 **2,905億円** (3.1%)  
事業利益 **132億円** (△17.2%)

航空宇宙用途は順調に回復していますが、風力発電翼用途で調整局面となったほか、圧力容器を含む一般産業用途の需要が軟化しました。

#### 環境・エンジニアリング

売上収益 **2,441億円** (6.7%)  
事業利益 **232億円** (17.7%)

水処理事業は、逆浸透膜の2大市場である米中での出荷が堅調に推移しました。  
また、国内の建設子会社の売上が堅調に推移したほか、エンジニアリング子会社のプラント関連事業が伸長しました。

#### ライフサイエンス

売上収益 **522億円** (△2.8%)  
事業利益 **△13億円** (—)

医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ®\*において、後発医薬品発売の影響と薬価改定の影響を受けたほか、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー®が海外で在庫調整の影響を受けました。  
\*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。  
医療機器事業は、透析機器が原燃料価格高騰の影響を受けましたが、血液透析ろ過用ダイヤライザーの出荷が国内で堅調に推移しました。

上記のセグメント以外に、その他の売上収益169億円、事業利益33億円、事業利益の調整額△272億円があります。

## 会社概要 (2024年3月31日現在)

設 立 1926年(大正15年)1月

資 本 金 147,873,030,771円

従 業 員 数 48,140名

#### 東レグループの主要な事業内容

下記製品の製造・加工及び販売

##### 織 維

ナイロン・ポリエステル・アクリル等の糸・綿・紡績糸及び織物、不織布、人工皮革、アパレル製品等

##### 機能化成品

ナイロン・ABS・PBT・PPS等の樹脂及び樹脂成形品、ポリオレフィンフォーム、ポリエステル・ポリエチレン・ポリプロピレン等のフィルム及びフィルム加工品、合成繊維・プラスチック原料、ファイナケミカル、電子情報材料、印写材料等

##### 炭素繊維複合材料

炭素繊維・同複合材料及び同成形品等

##### 環境・エンジニアリング

水処理機能膜及び同機器、総合エンジニアリング、マンション、産業機械類、情報関連機器、住宅・建築・土木材料等

##### ライフサイエンス

医薬品、医療機器等

##### その他

分析・調査・研究等のサービス関連事業等

#### 取締役・監査役一覧 (2024年6月25日現在)

代表取締役会長 日 覺 昭 廣

代表取締役社長 大 矢 光 雄

代表取締役 萩 原 識

取締役 安 達 一 行

取締役 首 藤 和 彦

取締役 恒 川 哲 也

取締役 岡 本 昌 彦

社外取締役(非常勤) 伊 藤 邦 雄

社外取締役(非常勤) 野 依 良 治

社外取締役(非常勤) 神 永 晋

社外取締役(非常勤) 二 川 一 男

社外取締役(非常勤) 原 山 優 子

監 査 役(常 勤) 平 林 秀 樹

監 査 役(常 勤) 田 中 良 幸

社外監査役(非常勤) 熊 坂 博 幸

社外監査役(非常勤) 高 部 眞 規 子

社外監査役(非常勤) 荻 野 浩 三

本報告書中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいており、当社の将来の業績を保証するものではありません。

## 要約連結財務諸表 (IFRS)

科 目	単位:百万円(百万円未満四捨五入)	
	前連結会計年度 (2023.3.31)	当連結会計年度 (2024.3.31)
<b>■資産</b>		
流動資産	1,429,279	1,522,640
現金及び現金同等物	223,995	235,887
営業債権及びその他の債権	586,114	659,600
棚卸資産	521,598	531,959
その他	97,572	95,194
非流動資産	1,764,762	1,943,878
有形固定資産	1,007,843	1,081,115
使用権資産	49,149	50,486
のれん	95,451	95,996
無形資産	84,575	95,269
持分法で会計処理されている投資	234,645	228,989
その他の金融資産	214,730	278,254
その他	78,369	113,769
資産合計	3,194,041	3,466,518

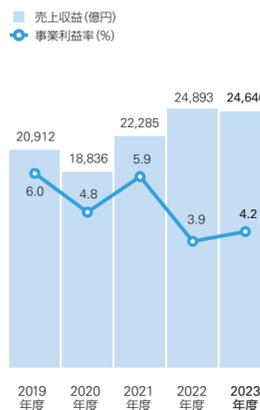
科 目	単位:百万円(百万円未満四捨五入)	
	前連結会計年度 (2023.3.31)	当連結会計年度 (2024.3.31)
<b>■負債及び資本</b>		
流動負債	826,211	865,734
営業債務及びその他の債務	324,140	340,256
社債及び借入金	376,993	379,847
その他	125,078	145,631
非流動負債	732,020	754,422
社債及び借入金	534,121	530,557
その他	197,899	223,865
負債合計	1,558,231	1,620,156
親会社の所有者に帰属する持分	1,535,028	1,736,034
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	120,919	120,944
利益剰余金	1,037,120	1,068,364
自己株式	△19,617	△19,220
その他の資本の構成要素	248,733	418,073
非支配持分	100,782	110,328
資本合計	1,635,810	1,846,362
負債及び資本合計	3,194,041	3,466,518

科 目	単位:百万円(百万円未満四捨五入)	
	前連結会計年度 (2022.4.1～2023.3.31)	当連結会計年度 (2023.4.1～2024.3.31)
売上収益	2,489,330	2,464,596
売上原価	△2,068,495	△2,021,073
売上総利益	420,835	443,523
販売費及び一般管理費	△330,907	△346,344
その他の収益	33,978	8,985
その他の費用	△14,905	△48,513
営業利益	109,001	57,651
金融収益	8,484	12,149
金融費用	△13,013	△19,083
持分法による投資利益	7,398	8,850
税引前当期利益	111,870	59,567
法人所得税費用	△31,031	△29,112
当期利益	80,839	30,455
当期利益の帰属		
親会社の所有者	72,823	21,897
非支配持分	8,016	8,558
当期利益	80,839	30,455
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	45.49	13.67
希薄化後1株当たり当期利益(円)	45.40	13.65

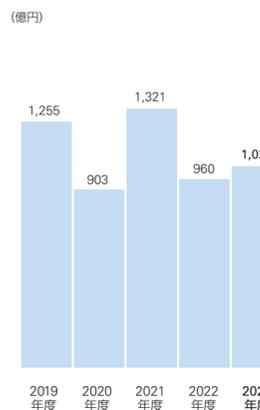
科 目	単位:百万円(百万円未満四捨五入)	
	前連結会計年度 (2022.4.1～2023.3.31)	当連結会計年度 (2023.4.1～2024.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,213	185,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,724	△120,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,378	△70,370
現金及び現金同等物の為替変動による影響	8,529	17,579
現金及び現金同等物の増減額	△6,360	11,892
現金及び現金同等物の期首残高	230,355	223,995
現金及び現金同等物の期末残高	223,995	235,887

## 財務ハイライト

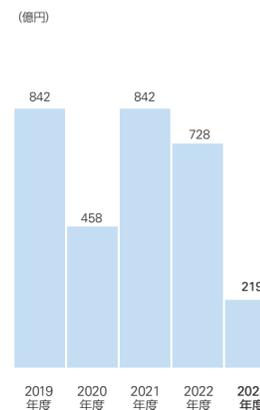
#### 売上収益・事業利益率



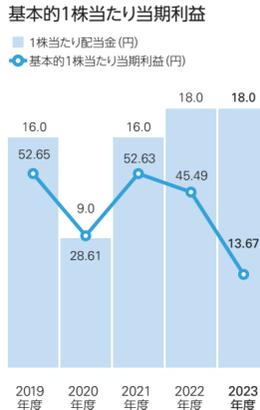
#### 事業利益



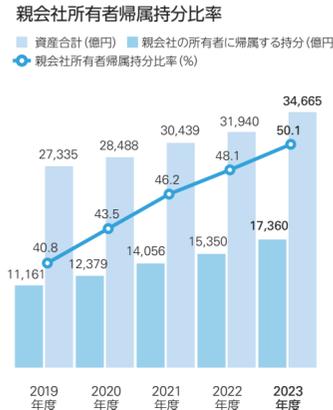
#### 親会社の所有者に帰属する当期利益



#### 1株当たり配当金・基本的1株当たり当期利益



#### 資産合計・親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



上記のセグメント以外に、その他の売上収益169億円、事業利益33億円、事業利益の調整額△272億円があります。